

●低VOC・水性反応硬化形アクリルウレタン樹脂塗料

●低VOC・水性反応硬化形アクリルシリコン樹脂塗料

水性ウレタンユニ

水性シリコンユニ

セラミック配合

低VOC・低臭・高耐候・防かび・防藻・透湿

UNIVERSAL PAINT

F☆☆☆☆☆

ユニバーサルペイントが
建物を元気にします。



ユニシリーズ

ユニバーサルペイント

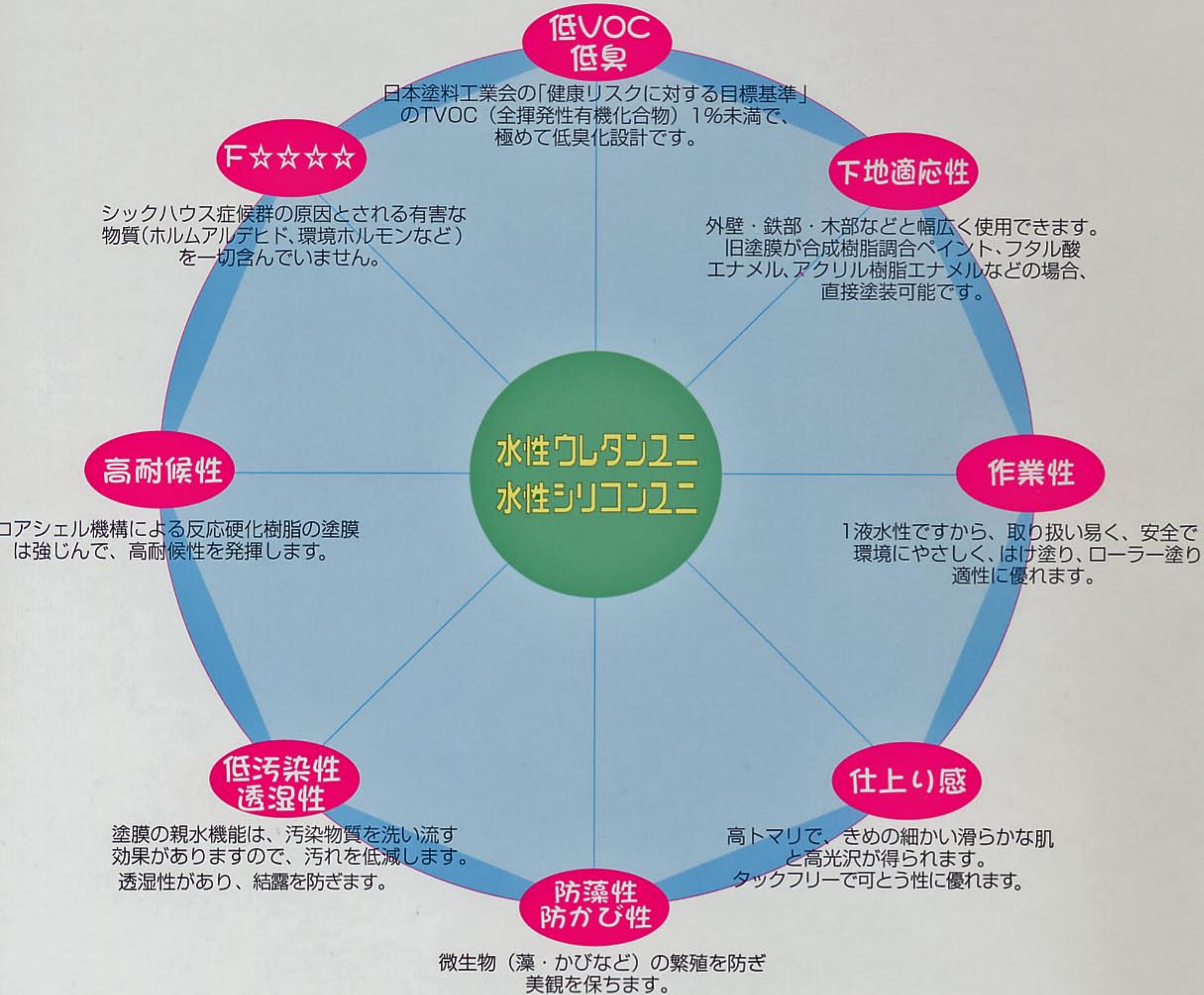
●低VOC
水性反応硬化形アクリルウレタン樹脂塗料

●低VOC
水性反応硬化形アクリルシリコン樹脂塗料

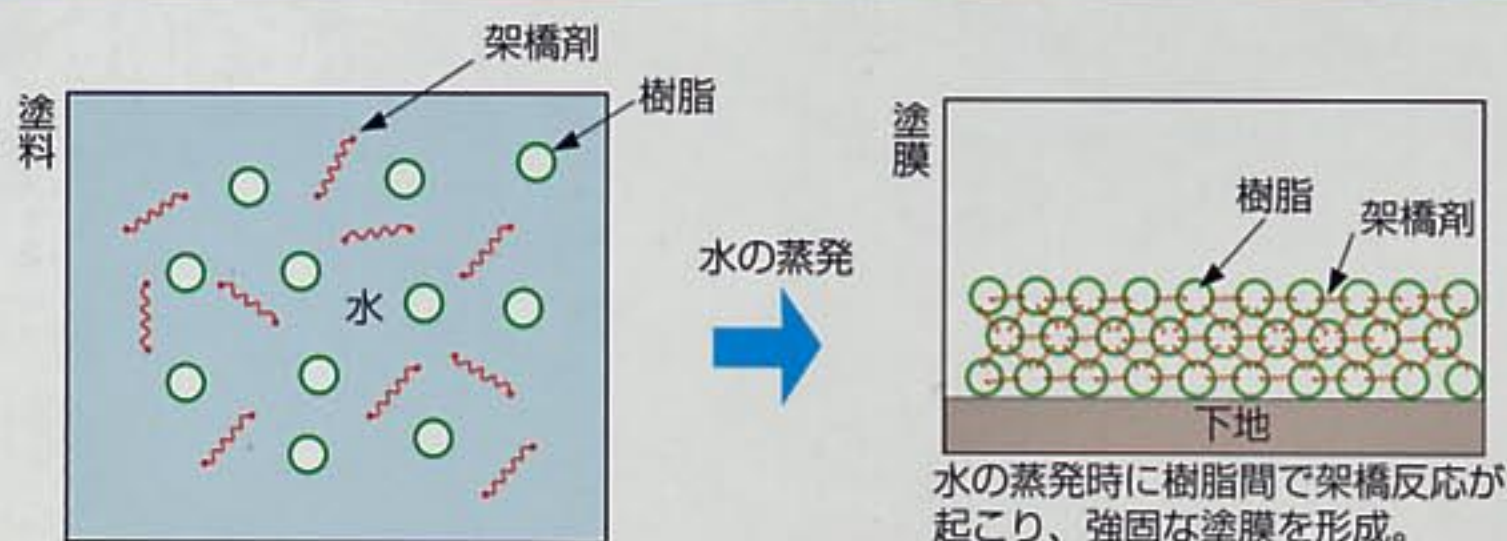
水性ウレタンユニ

水性シリコンユニ

屋内用塗料における有害化学物質への法規制強化および健康・環境への配慮などがああ中、鉄部塗装、外部塗装においても、従来の溶剤系塗料に代わり、水系塗料へと移っています。高耐候性のウレタンおよびアクリルシリコンの反応硬化形樹脂をベースに、さらに低VOC化を図り、多用途に使用できる新品質の塗料「ユニシリーズ」を完成しました。水性で、最高の塗膜性能を極めた、次世代の環境対応形ユニバーサルペイントです。



ユニシリーズの反応硬化機構



塗り替える昔、油ペンキいま、ユニバーサルペイント!

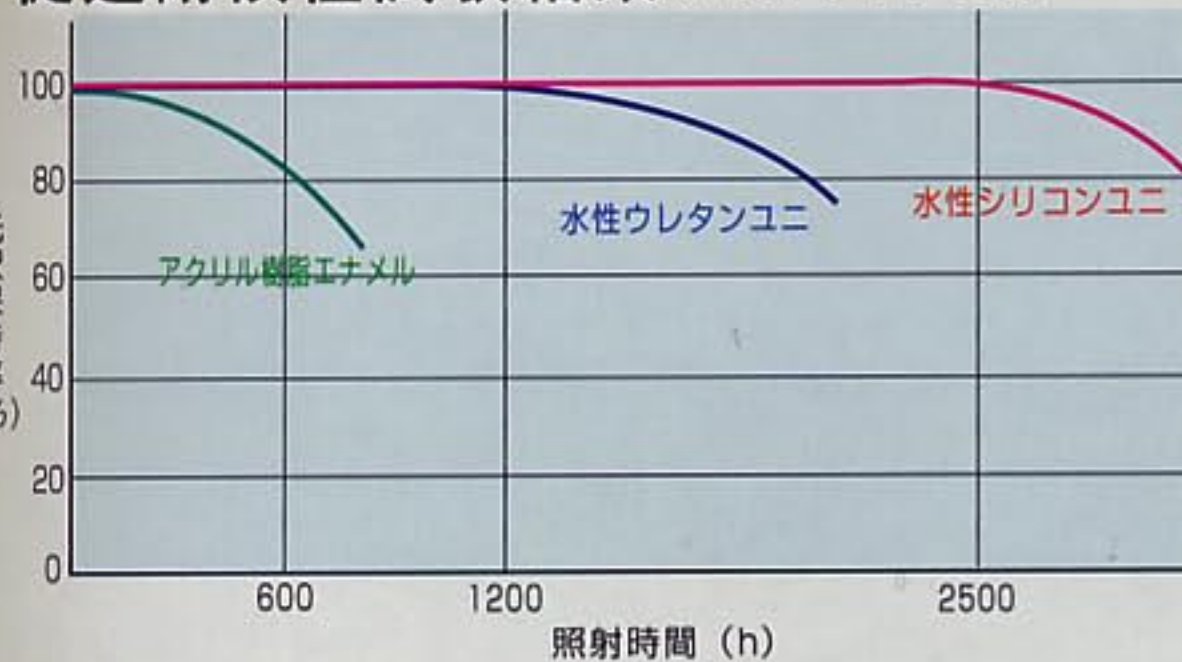
性能データ

試験項目	試験方法	水性ウレタンユニ	水性シリコンユニ
光沢	60度鏡面光沢度	84	83
鉛筆硬度	7日間乾燥後	2B	2B
付着性	碁盤目試験 (1mm方眼)	25/25	25/25
耐水性	水道水 7日間浸漬	異常なし	異常なし
耐酸性	5%塩酸 7日間	異常なし	異常なし
耐アルカリ性	飽和石灰水 7日間浸漬	異常なし	異常なし
可塑性移行防止性	シーリング材の可塑性移行による粘着性	○	○
防藻・防かび性	JIS Z 2911 準拠	合格	合格
透湿性 g/m ² ·24h	JIS Z 0208	80	70
ホルムアルデヒド放散等級	デシケータ法	F☆☆☆☆	F☆☆☆☆
VOC含有量 (%)	ガスクロマトグラフ	1%未満	1%未満
環境ホルモン	含有の有無	含有せず	含有せず

JIS A 6909 複層塗材E試験結果【合格】

試験項目	規格	水性ウレタンユニ	水性シリコンユニ
低温安定性	塊がなく組成物の分離・凝集がないこと。	合格	合格
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	ひび割れがないこと。	合格	合格
付着強さ N/mm ²	標準状態 0.7以上 浸水後 0.5以上	1.6 1.3	1.5 1.3
温冷繰り返し	試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと。	合格	合格
透水性B法(ml)	0.5以下	0.1	0.1
耐衝撃性	ひび割れ、はがれ及び著しい変形がないこと。	合格	合格
耐候性B法	キセノンランプ法	耐候形2種	耐候形1種

促進耐候性試験結果 (キセノンランプ法)



色・容量

商品名	色相	容量
水性ウレタンユニ 水性シリコンユニ	白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺 淡彩色 中彩色 濃彩色	16kg 3kg(原色のみ)
水性ウレタンユニ7分つや 水性シリコンユニ7分つや	白 淡彩色	16kg
水性ウレタンユニ5分つや 水性シリコンユニ5分つや	白 淡彩色・中彩色・濃彩色	16kg

鉄部塗装



下塗り
水系さび止めペイント+
水性ラスノン

上塗り
水性ウレタンユニ
水性シリコンユニ

外壁塗装



新設

下塗り
低VOC・特殊ウレタン変性水系シーラー
サミブラ

上塗り
水性ウレタンユニ
水性シリコンユニ

塗り替え

●旧塗膜のテクスチャーを活かす場合

上塗り
水性ウレタンユニ
水性シリコンユニ

●旧塗膜のテクスチャーを変える場合

下塗り
微弾性下地調整塗材
リメイクブラ

上塗り
水性ウレタンユニ
水性シリコンユニ

木部塗装



下塗り
水系木部下塗り塗料
ドライキット

上塗り
水性ウレタンユニ
水性シリコンユニ

樋塗装



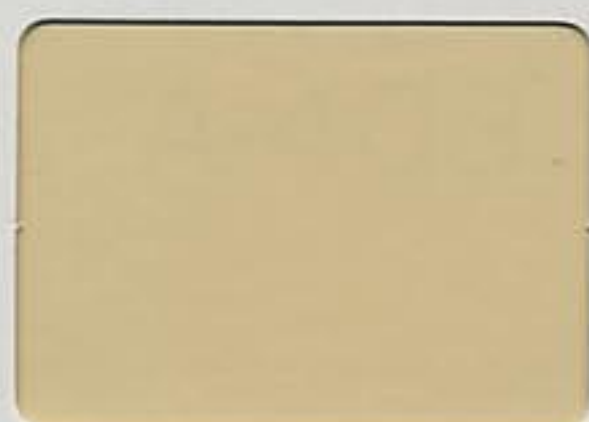
(目荒し) +

上塗り
水性ウレタンユニ
水性シリコンユニ

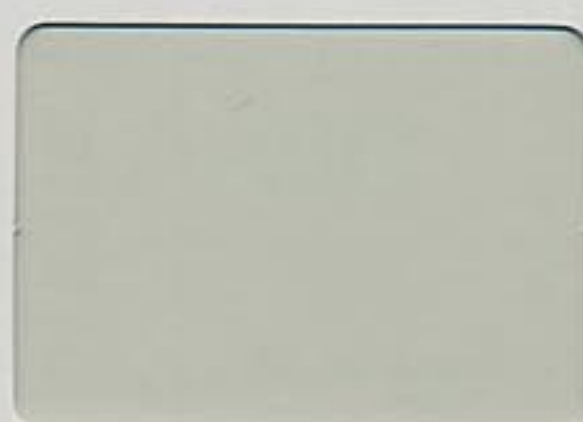
標準色



↑ N-90 ※



↑ A-403



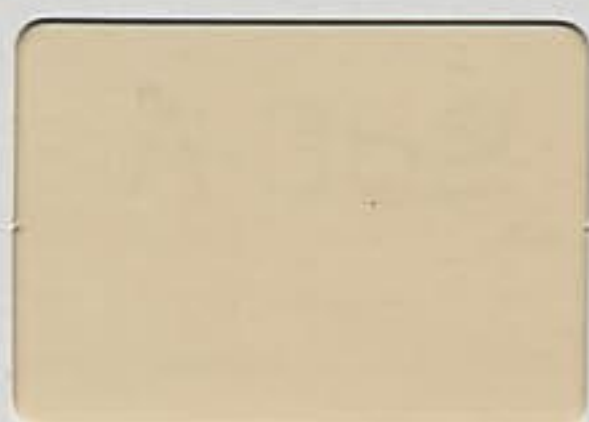
↑ A-001



↑ A-303



↑ A-455



↑ A-352



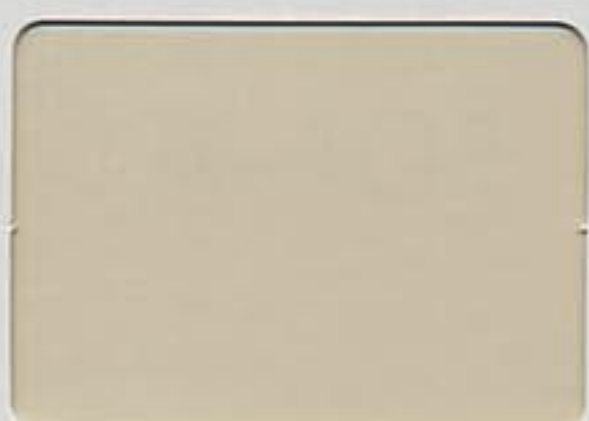
↑ A-602



↑ A-350



↑ A-002



↑ A-401



↑ A-607



↑ A-358



↑ A-022



↑ A-500



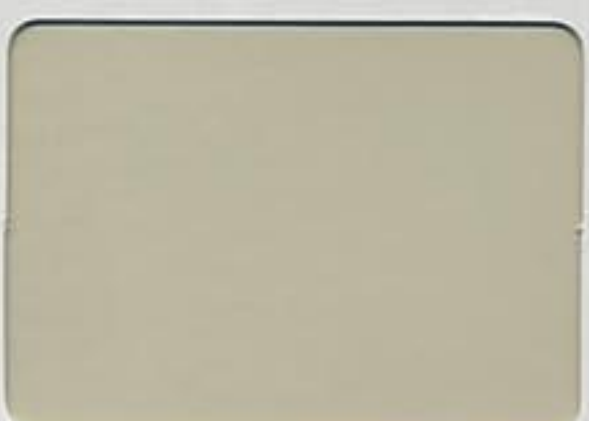
↑ A-420



↑ A-359



↑ A-023



↑ A-204



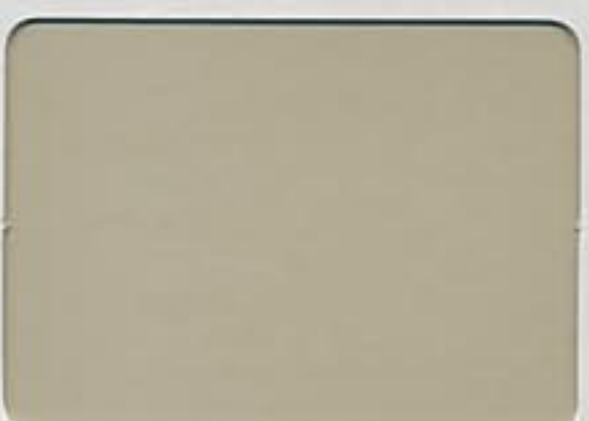
↑ A-428



↑ A-305



↑ A-005



↑ A-201



↑ A-422



↑ A-260



↑ A-009



↑ A-419



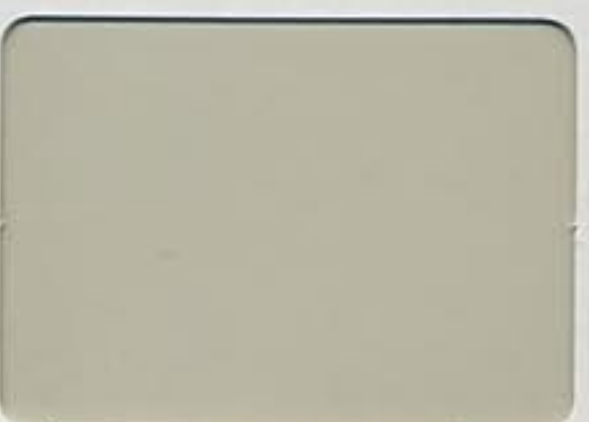
↑ A-370



↑ A-263



↑ A-010



↑ 22-85B ※



↑ 09-30D ※



↑ 15-30B ※

鉄骨・手すり・門扉などの一般鉄部

……………(旧塗膜…SOP・フタル酸樹脂、塩化ビニル樹脂、アクリル樹脂)

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 下地調整	・ディスクサンダーなどの電動工具を主体とし、スクレーパー・ワイヤーブラシ・研磨布・皮すきなどの手工具を併用して、さび・劣化塗膜などを除去する。 ・油脂類は溶剤ぶきで除去する。					
2 下塗り(さび止め塗り)	水性ラスノン 清水	100 0~5	0.11~0.15	1~2	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	水性ウレタンユニ 清水	100 5~15	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
または						
3' 上塗り	水性シリコンユニ 清水	100 5~15	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□鉄部の露出がなく、旧塗膜を活膜として存続できる場合は、下塗りの省略ができます。

コンクリート・モルタル・窯業系サイディングボードなどの外壁

……………(旧塗膜…リシン・吹付タイル・スタッコ・EP・AEP)

① 旧塗膜のテクスチャーを活かす場合

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 下地調整	・チョーキング・汚れ・じんあい・劣化塗膜などを高圧水洗で除去する。 ・水洗い面を十分に乾燥させる。					
2 上塗り	水性ウレタンユニ 清水	100 5~15	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
または						
2' 上塗り	水性シリコンユニ 清水	100 5~15	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

② 旧塗膜のテクスチャーを変える場合

工程	塗材	調合(重量比)	標準所要量(kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間(23℃)	施工方法
1 下地調整	・旧塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 ・チョーキング・汚れ・じんあい・劣化塗膜などを高圧水洗で除去する。 ・水洗い面を十分に乾燥させる。 ・旧塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。					
2 下塗り	リメイクブラ 清水	100 1~3	0.8~1.2	1	8時間以上	パターンローラー塗り
3 上塗り	水性ウレタンユニ 清水	100 5~15	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
または						
3' 上塗り	水性シリコンユニ 清水	100 5~15	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

木部

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 下地調整	・旧塗膜の劣化部分をスクレーパー、研磨紙などを用いて除去する。 ・汚れ・付着物は、木部を傷つけないように除去し、油脂類は溶剤ぶきで除去する。					
2 上塗り	水性ウレタンユニ 清水	100 5~15	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
または						
2' 上塗り	水性シリコンユニ 清水	100 5~15	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□旧塗膜が剥離し、下地が露出している場合には、下塗りとしてドライキットを塗装してください。

樋(硬質塩ビ)

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 下地調整	・サンドペーパーなどを用いて目粗しをする。 ・汚れ・付着物・油脂類を溶剤ぶきなどにより除去する。					
2 上塗り	水性ウレタンユニ 清水	100 5~15	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
または						
2' 上塗り	水性シリコンユニ 清水	100 5~15	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

一般鉄部及び金属部(鉄・亜鉛鉄板・アルミニウム・ステンレス)

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	・ディスクサンダーなどの電動工具を主体とし、スクレーパー・ワイヤーブラシ・研磨布・皮すきなどの手工具を併用して、さび・黒皮・じんあい・汚れなどを除去する。 ・油脂類は溶剤ぶきで除去する。					
2 下塗り(さび止め塗り)	水性ラスノン 清水	100 0~5	0.11~0.15	1~2	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	水性ウレタンユニ 清水	100 5~15	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
または						
3' 上塗り	水性シリコンユニ 清水	100 5~15	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

□塩化ビニル被覆鉄板の場合は、下塗りにリフロンを2回塗りしてください。

外壁(コンクリート・モルタル・PC部材・ALCパネル・窯業系サイディングボード)

① 平滑仕上げ

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	・素地は、十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ・素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンファイラーなどの仕上塗材用下地調整塗材にて補修する。					
2 下塗り	サミブラ	100 5~15	0.08~0.10	1	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	水性ウレタンユニ 清水	100 5~15	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
または						
3' 上塗り	水性シリコンユニ 清水	100 5~15	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

② 防水形複層塗材E仕上げ(ラフトン弾性ジャンボの場合)

工程	塗材	調合(重量比)	標準所要量(kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間(23℃)	施工方法
1 素地調整	・素地は、十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ・素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンファイラーなどの仕上塗材用下地調整塗材にて補修する。					
2 下塗り	サミブラ 清水	100 0~5	0.08~0.10	1	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3 主材塗り	基層塗り ラフトン弾性ジャンボ 清水	100 5~10	1.0~1.5 (1.5~1.8)	1	3時間以上	ラフトン1号または3号ガン 口径4.0~6.5mm 吹付圧0.35~0.45MPa
	模様塗り ラフトン弾性ジャンボ 清水	100 0~2	0.7~1.1 (1.0~1.3)	1	16時間以上	ラフトン1号または3号ガン 口径6~8mm 吹付圧0.2~0.3MPa
4 上塗り	水性ウレタンユニ 清水	100 5~15	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
または						
4' 上塗り	水性シリコンユニ 清水	100 5~15	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

()は20kgの製品の場合です。

③ 塗材仕上げ(ラフトンエポキシジャンボRE、ラフトンシリカジャンボ、ラフトンジャンボ)の上塗りにも使用可能です。

木部

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
1 素地調整	・オービタルサンダー(研磨紙p180~240)などを用い、かんな目、逆目、毛羽を除去し、平滑にする。 ・汚れ・じんあいはふき取り、ヤニ・油脂類は溶剤ぶきで除去する。					
2 下塗り	ドライキット 清水	100 5~15	0.13~0.16	1~2	3時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3 上塗り	水性ウレタンユニ 清水	100 5~15	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
または						
3' 上塗り	水性シリコンユニ 清水	100 5~15	0.15~0.20	2	4時間以上 (最終養生 24時間以上)	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

■ 塗装上の注意事項

- ・素地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- ・素地の巣穴、クラック、不陸、目違いなどは、予め樹脂モルタルまたはラフトンフィラーなどで補修し、平滑にしてください。
- ・気温5℃以下、湿度85%以上及び結露が懸念される場合は、塗装を避けてください。
- ・強風時や降雨・降雪のおそれがある場合は塗装を避けてください。
- ・吹付塗装の場合は、飛散防止の養生など十分に注意してください。
- ・使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- ・うすめすぎは、たるみ、隠ぺい不足、つや不良などを生じますので注意してください。
- ・たれ、塗り残しなどがないように均一塗装してください。
- ・仕様の各数値は、標準的な数値です。素地の形状や状態・塗装方法・環境などによって増減することがあります。
- ・各工程の塗装間隔及び最終養生は所定の時間を厳守してください。
- ・シーリング面に塗装する場合は、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。
(ポリサルファイド系シーリングの場合は、2回塗りしてください。)
- 尚、シリコン系及びブチル系シーリングの場合は、塗装を避けてください。
- ・シャッター・歩行部位への使用は避けてください。
- ・塗装面とプラスチックなどの可塑剤を含むものが接触する箇所には塗装しないでください。
- ・ベンチ・ジャングルジムなど人が乗るもの、またテーブル・カウンター・棚など物を置くものへの塗装は避けてください。
- ・補修塗りは、使用した塗料(同一ロット)を用いて、同じ塗装方法で行ってください。
- ・この見本帳に記載以外の下地や仕様で塗装される場合は塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

■ 取扱い上の注意事項

- ・取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- ・容器から出し入れするときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- ・蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- ・取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- ・容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管して下さい。特に下記の場所の保管は避けてください。
雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- ・捨てるときには、産業廃棄物として処分してください。
- ・詳細な内容が必要なときには、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

注) ① 建物の構造、塗装部位(雨のかかりが少ない面、汚れが多量に集まる面など)によっては、低汚染効果が発揮されないことがありますのでご了承ください。

② 各製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読み頂き、正しく安全にご使用ください。
また、製品の詳細な内容が必要な時には、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。



スズカファイン株式会社

営業本部 〒530-8411 大阪市北区堂山町1番5号(大阪合同ビル) ☎06-6365-1116 FAX06-6365-1112
技術本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎0593-46-1116 FAX0593-46-4585

ISO 9001 認証取得



札幌支店 ☎0133-60-6311	東京支店 ☎03-5661-2211	名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎06-6365-1681	広島支店 ☎082-277-1116	四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071		
旭川出張所 ☎0166-29-6111	東北営業所 ☎0224-82-1633	群馬出張所 ☎027-253-4821
埼玉営業所 ☎048-643-7180	千葉出張所 ☎043-486-0096	神奈川営業所 ☎046-286-3220
新潟営業所 ☎025-271-2345	金沢営業所 ☎076-267-1922	静岡営業所 ☎054-236-0825
三重出張所 ☎0593-97-6115	平野営業所 ☎06-6791-6291	東大阪営業所 ☎072-862-1601
播磨営業所 ☎0791-67-1468	和歌山出張所 ☎073-472-3480	岡山出張所 ☎086-470-2808
松山出張所 ☎089-922-0577	北九州出張所 ☎093-562-1503	熊本出張所 ☎096-237-3342
宮崎出張所 ☎0985-50-6840	鹿児島出張所 ☎099-268-5208	沖縄営業所 ☎098-884-6054

取扱店

URL <http://www.suzukafine.co.jp/>

●この見本帳に記載の商品の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
●この見本帳の使用有効期限は、2008年11月までです。それ以降のご使用は避けてください。

05/12

頒布価格 500円